

# 後世に残したい大井川の姿

大井川。南アルプスの南麓の山々に降り注いだ雨水は、やがて大きな流れとなり167キロの道のりを旅して駿河湾へと注いでいく。本町の中央を流れるこの大井川の水は、飲料水に、農業用水に、工業用水に、電力にと幅広く利用され、わたしたちの日々の暮らしを支えている。本町だけではなく、恩恵を受ける流域の住民すべての「命の源」だ。



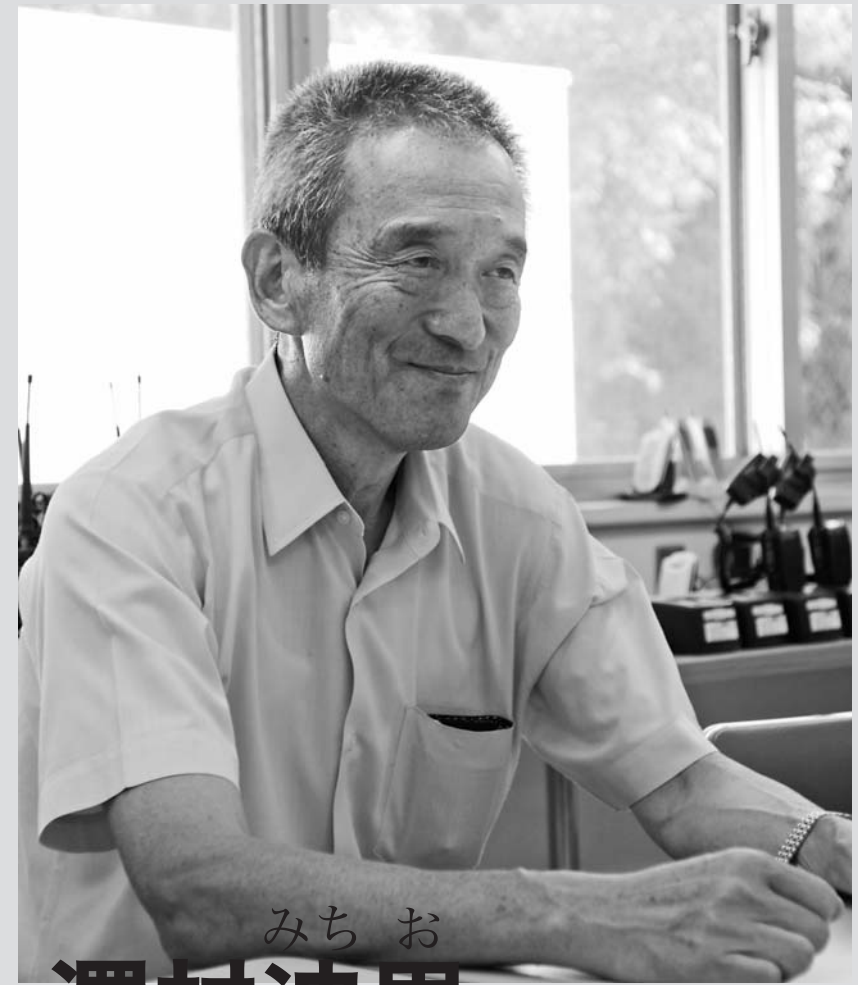
大井川の清流を守る研究協議会が主催する「大井川流域シンポジウム」は1月25日、島田市金谷の夢づくり会館で開催された。流域から180人もの参加者が集い、大井川に対する意識を共有した。本号では、パネルディスカッションで交わされた討論などを中心に、「後世に残したい大井川」について考えてみる。「夢」づくり会館で、どんな「夢」が語られたのだろうか。



CAST :

- 1 Kuroda Junnosuke
- 2 Kume Isamu
- 3 Ozawa Setsuko
- 4 Suzaki Touko
- 5 Yamada Tatsumi

今、静かに眠りにつく——  
教育一筋に歩んだ人生



みちお  
**澤村迪男**

川根本町教育委員会教育長 享年66歳

子どもたちの  
すこやかな成長を願い続け

澤村迪男町教育委員会教育長。  
2月6日午前5時47分、浜松市内の病院で死去。66歳。

昭和40年4月に教職に就き、本川根町立奥泉小学校、北小学校、他町の小学校などで教鞭をふるう。平成12から15年までの3年間は、中川根第一小学校校長として子どもたちの成長を見守る。平成15年4月2日、旧中川根町の教育委員会教育長に就任。教職時代に培ったノウハウを生かし、合併後の現在まで教育行政を推進してきた。

実直でおだやかな性格。子どもの人権を第一に考え、子どものためにならないことには、厳然と立ち向かう力強さも併せ持っていた。

子どもたちが、伸び伸びと学校生活を送るためには何が必要か、常に考え続けた。子どもたちが元気に成長していく姿を、わが子が成長するかのよう喜んでいた。

この町の子どもたちを愛し、温かい目で見守り続けた。教育一筋に歩んだ人生。今、静かに眠りにつく。

ご冥福をお祈りします。



広報かわねほんちよう平成21年1月号の表紙を飾った写真。本川根小学校の子どもたちと共に、楽しそうにカメラを見つめる澤村迪男教育長の笑顔があった。子どもたちと一緒に笑ったからこそ、この笑顔が引き出せたのだろう。